

# SCだより

令和5年11月30日

小幡小学校SC

鈴木 宏始

## ドンマイ！ はげますことが<sup>ともだち</sup>友達のあかし

もし<sup>しっばい</sup>失敗したら、<sup>まちが</sup>間違えたら・・・はずかしいし、みんなにから

かわれるかもしれない。<sup>ともだち</sup>友達の目が気になったり、<sup>め</sup>できるかどうか

<sup>ふあん</sup>不安で<sup>じしん</sup>自信がなくなってしまう。



でも「ドンマイ!」、「だいじょうぶ」、「うまいくよ」。そういったまわりの人の声で<sup>ひと</sup>元気に

なることができる。「<sup>ゆうき</sup>勇氣と<sup>しっばい</sup>失敗はセット」、「<sup>しっばい</sup>失敗は<sup>ちょうせん</sup>挑戦から<sup>う</sup>生まれる」。失敗した人のその<sup>ゆうき</sup>勇氣

と<sup>ちょうせん</sup>挑戦をほめてたたえよう。そして<sup>ともだち</sup>友達は<sup>たいせつ</sup>とても大切な<sup>なかま</sup>仲間になっていくと思うよ。

また、大切なことは<sup>しっばい</sup>失敗に<sup>まな</sup>学ぶこと。<sup>しっばい</sup>失敗して<sup>げんいん</sup>なにか原因だったのかを<sup>かんが</sup>考える。それが<sup>つぎ</sup>次に

つなげることだし、<sup>こつ</sup>うまくなる<sup>つぎ</sup>コツだ。次に<sup>れんしゅう</sup>つなげるには練習<sup>じかん</sup>しなくちゃいけないし、時間<sup>は</sup>か

かる、という<sup>かくご</sup>覚悟は<sup>ひつよう</sup>必要かもしれないけどね。

## 保護者の皆さま ☆ 励まし、励まし合うことがチャレンジする勇氣につながる ☆

失敗したり、間違ったり、あるいは負けることをとても気にする。周囲の目を気にしすぎるあまりチャレンジできない。また、本人も気づかずにそういう場から逃避している子どももいます。「失敗に対する恐れ」が子どもたちの成長の妨げになっているかもしれないことに注意する必要があると思われま

す。一方、そのようなときに保護者の方々が「だいじょうぶ」と励ますことは、何よりも子どもたちを<sup>ゆうきづ</sup>勇気づけることでしょう。さらに、そういう励まし合う<sup>ともだち</sup>友達関係があることは、子どもがチャレンジして成長するには<sup>とても</sup>とても良い環境だと思われま

す。失敗を責めて叱るのではなく、子どもの<sup>きもち</sup>気持ちを聞きながら、一部分でもできていることをほめ、一緒にやってみる、コツを教えるなど上手に励ますことが大切です。このような



相談できる日は（12～1月） 火曜日

12月5日、12日、19日

1月9日、16日、23日、30日

相談時間 9:00～16:45